



ほけんだより

逆瀬川あゆみ保育園
2025.5.2
看護師 辰野

ぽかぽかと暖かい日が続いていますね。新しい環境での生活が始まってから1ヶ月が過ぎました。ピンと張っていた気が緩み、ケガをしたり体調を崩しやすくなる季節でもあります。規則正しい生活をして、元気いっぱいに過ごしましょう。

そろそろ夏服への移行期です

朝晩は肌寒いですが、日中の日差しが強くなり、園庭で元気よく遊んだあとは汗をかいています。気温に合わせて衣服の調節をしましょう。



服は外の刺激から体を守る働きをしています。素材によっては子どもの健康にも左右されるので、重要な役割をしています。綿100%の物が汗の吸収がよく、子どもには適しています。

また、衣替えを期にサイズの確認もお願いします。

※ 衣類が小さすぎたり大きすぎたりすると、自分で着脱することが困難になります。

※ 保護者の皆様へお願い

保育園でケガをされた時、傷の程度によって保育園で傷口の洗浄をし絆創膏やガーゼを貼付します。またご自宅からもケガ等をした時に絆創膏やガーゼを貼って登園されることもあるかと思います。保育園では医師の指示に限り貼り直しをしますが、出血や浸出液が多い場合以外は、極力貼らずに登園をお願いいたします。理由としては、絆創膏やガーゼ等が剥がれ落ちてしまい、それを他の子どもが口に入れてしまう可能性があるからです。ご協力をお願いいたします。



保育園での虫よけ対策

そろそろ蚊などの虫が増えてくる季節となりました。保育園では虫よけ対策として、「蚊取り線香を焚く」「園で指定した虫よけスプレーを使用する」といった対応をとっています。蚊取り線香使用にて体調が悪くなる等の心配がある場合はご相談ください。また、ご自宅で虫よけシールの貼付やブレスレットを着用しての登園は、香りが強く近くにいるお子さんへ影響を及ぼしてしまったり、取れた際に誤嚥の可能性があるので、原則として園での使用をお断りしています。

◇ 保育園で蚊に刺された時の対処 ◇



- 流水で刺された部分を洗う
- 保冷剤や氷などで冷やす
- ムヒベビーを塗布する



当園では、ムヒベビーを使用しています。

あまりにも腫れが強く、掻きむしって傷が出来てしまう場合は病院受診をお願いします。「とびひ」になってしまうと他の皮膚にうつってしまい、治りが悪くなります。

保育園では原則、軟膏塗布といった医療行為はできませんので、悪化する可能性がある場合は、早めの受診と対応をお願いします。また、登園の許可については医師の指示に従いますので、受診の際に医師に保育園に登園しても良いか確認をお願いします。

◇ 保育園で使用する虫よけスプレーについて ◇

園庭以外の散歩や夕方園庭で遊ぶ際には、下記の虫よけ剤を使用します。健康上、下記商品の使用について不安のある方は、職員にご相談ください。

スプレーを使用するのは、うさぎ組(2歳児)とひつじ組(3歳児)に限ります。

● 有効成分「イカリジン」配合

- ・蚊やマダニなどに優れた虫よけ効果を発揮。
- ・お子様への使用制限・回数制限がないので、小さなお子様から安心して使用できます。
- ・衣類にやさしい成分なので、服の上からも使えます。

● 虫よけ特有のニオイがない

- ・ニオイを気にせず、しっかり使えます。
- ・虫よけを嫌がるお子様にもおすすめです。

● お肌にやさしい虫よけ

- ・ヒアルロン酸Naを配合し、海洋深層水を使用。
- ・無香料、保存料無添加の低刺激処方です。

お肌の虫よけ
プレシャワ-DF

